

龍雲寺 花園会報

二〇二三年

秋季彼岸号

監修

細川 景一

編集

細川要子

○妙心寺 URL <http://myoshin.com/>

○龍雲寺 URL <http://home.catv.ne.jp/rr/ryuuninji/>

〒一五四一〇〇〇三三

東京都世田谷区野沢三ー三八ー一

TEL 〇三ー三四二一ー〇二三八

FAX 〇三ー三四一八ー九八六三

九月西風落葉を驚す

細川 景一

今年は特に暑い夏でした、気候不順と申しますか気候異変と申しますか。テレビ等で「今までに体験した事のない様な・・・」という言葉も聞きました。

しかし「暑さ寒さも彼岸まで」といわれる様に急に秋がやって来た様です。彼岸会がやってきました、古説によれば聖徳太子が大阪の四天王寺を建立された折、春分、秋分の日には太陽が真東より登り、真西に沈むその折、太陽の光が寺の華表を照した事により、その日を仏縁と定められたといわれています。以来皇室では古来より春分、秋分の日には、歴代の天皇の霊を祀る皇霊祭という儀式がおこなわれていました。しかし、明治という新しい時代が到来し、明治十二年には、宮中行事から国民行事とされ、春分、秋分の日が祝日となりました。

その後、日本は太平洋戦争に突入し、昭和二十年に終戦となり、民主主義国家として再生することになりました。いままで、皇室主導の国民行事であった皇霊祭はとり止めとなりそれに代わって、昭和二十三年、「国民の祝日に関する法律」の公布によって、春分、

秋分は引き続き国民の祝日とされ今日に至っています

祝日とする理由を次のように定めています。春分の日（自然をたたえ、生物を慈しむ日）秋分の日（先祖を敬い故人を偲ぶ日）

この様に内容は日本的な豊かな情緒をはぐくむものになっています。

彼岸には、自然を大切にしてい、いのちある動物等を慈しみ、亡くなった人の事を思い出し先祖を崇ぶ習慣を身につけたいものです。こうした法律があることを、未来を担う子ども達には是非知ってもらいたいものです。
(法雲寺詩参考)

秋季彼岸会法要

平成二十五年九月二十三日(月)

於・龍雲寺本堂

御詠歌奉詠

正午

午後十二時 四十五分 法話

午後一時 三十分 法要

※おはぎと、お漬物をご用意しています。

どうぞお参り下さい。 申込不要。

行事予定

九月二十三日(月) 彼岸会

十月 八日(火) 十一日(金)

第七次四国八十八ヶ所巡拝④

十九日(土) 第十回天満敦子ヴァイオ

リンコンサート(於・本堂)

二十二日(火) 二十四日(木)

全国奉詠大会

十一月 二日(土) 晋山式

十六日(月) 十九日(木)

第三次西国三十三観音巡礼④

十二月 中旬 龍雲寺子ども会餅つき大会

三十一日(火) 除夜の鐘

一月 七日(火) 大般若会

二月 十七日(月) 二十日(木)

台湾三十三観音巡礼の旅①

◆六地藏さんの話

洗心坐禅会 高橋 文彦

龍雲寺さんに可愛い「六地藏さん」が奉られました。お地藏さんは私たちには極めて身近な仏様です。東京では世田谷の寺院や道筋に多いようです。ただ六地藏さんとなると寺社仏閣に限られてるようですね。「六地藏さん」は地方的に呼び方などもあり、画一的・確定的に決め付けできませんが、私なりにわかりやすく整理してみました。

一般的には地藏菩薩を六体並べてお奉りしますが、これは仏教の六道輪廻の考えに従っており、地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人道・天道の順に、「壇陀地藏、宝珠地藏、宝印地藏、持地藏、除蓋障地藏、日光菩薩と称ぶ場合もあるそうです。さらに金剛宝地藏、金剛悲地藏、金剛撞地藏、放光王地藏、頂天賀地藏と呼ぶ場合もあるとのこと。更に違う呼称もあるようです。地藏菩薩の形は合掌・蓮華・錫杖・香炉・幢・数珠・宝珠など統一はされていません。

地藏菩薩と人々との関わりは、昔々のインドの話として、慈悲深い王様が仏様になることを避けて自ら地獄に落ちて、地獄で苦しむ人々を救うため地藏菩薩となり、人々の罪業を消して成仏させたり、身代わりになって助けると言う話が多く、地藏菩薩は極めて身近な菩薩・仏様として存在していることになりました。

また日本では今昔物語に六地藏のいわれがあります。神社の神宮が地藏菩薩に深く信仰し、死に際して、冥土に行く途中の何も無い

野原に六人の小僧が、それぞれ宝珠、香炉、合掌・錫杖・花かご・数珠を持ち、「我々は六地藏である、神官でありながら地藏を信仰している。お前は現世に帰り六地藏の像を作って供養しなさい」と告げられて生き返った神官は等身大の六地藏菩薩の像を造り開眼供養をし、地藏の功德で天寿を全うしたとのことです。我々の日常にも身近に感じる地藏菩薩の伝承が色々ありますね。私の本家の山形県米沢市の街道筋にも江戸時代のお地藏さんが鎮座し、近隣の方々のお供え物が絶えませんが、六地藏は六道をそれぞれ守護する地藏尊で、道祖神信仰として町外れや辻つじに「守護神」として奉られることが多いですね。

◆『十牛図』について

細川 晋輔

禅宗には古来から「十牛図」というものがあります。中国の宋の時代から描かれて、私たち現世に生きるものを「童」に、「本来の自分」とも云うべき「悟り」を「牛」にたとえたストーリー展開になっています。つまりは、人間が悟って仏心を得る方法を十の段階にわけて図説したものが「十牛図」なのです。これから十回にわたり、その「十牛図」の話

をさせて頂きたいと思えます。この絵は、父と私が修行させて頂いた京都・大本山妙心寺の専門道場の師家・雪丸令敏老大師によるもので、父の修行仲間である、三重の妙華寺様が絵本にされたものです。とてもユーモアがあり、それでいて奥が深い老大師の書画をテキストにさせて頂きます。



一、尋牛（牛を尋ねる）
「蟬鳴いて尋ねる牛や何処なる」

「悟り」や「本来の自分」と聞くととても難しく感じられます。そこで「自分が生きていく意味」と考えてみてはどうでしょうか。諸行無常を云われる現世では、時として、そして突然に「生きる意味とは何か？」ということを目の前に突きつけられます。そんな時、人間なら誰しも「本当の自分」を探してみたくはなりません。例えば旅に出てみたり、寺社仏閣をお参りしたり、念仏を唱えたり。禅宗で云えば坐禅をしてみたり、写経をしてみたり。こういった段階のことを「尋牛」といいます。しかし、何事もはじめてすぐに上手くいく事はあまりありません。たとえば蟬が騒がしくなかなかなか集中できないように、「蟬鳴いて尋ねる牛や何処なる」といったところでしょうか。

募集中

◆花園会 禅・仏教講座のご案内

花園大学の先生方による、禅と仏教についての講座です。

十一月 十六日(土) 西村 恵信 師

白隠禅師と弟子の東嶺さんに縁のあるお寺

中尾 良信 師

永平寺 — 道元が目ざした生活 —

一月 十八日(土) 西山 美香 氏

建長寺と円覚寺 — 鎌倉五山 —

野口 善敬 師

博多三利(聖福寺・承天寺・崇福寺)

☆会費 一〇〇〇円(当日集金)

☆時間 午後二時〜五時

☆お問い合わせは龍雲寺まで

◆恵相教会花園流御詠歌会員募集

毎月一回 須藤芳順先生のご指導

九月 六日(金)・十月 四日(金)

十一月二十六日(火)・十二月二十五日(月)

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かつぼれ・ヨーガ等があります。



◆早朝洗心坐禅会(申込不要)

毎週日曜日 朝六時半〜八時半

会費 無料

坐禅用のイスもご用意しています。

◆写経会(申込不要)

毎月第二土曜日 一時〜四時

(但し、七月、八月はお休み)

納経料は 一卷五〇〇円(龍雲寺に納経) 来られない方は、お写経をお渡しいたします。

でご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。イス席もご用意しています。

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。

A(一五〇×一五〇) 永代使用料一二五万円
B(一五〇×一四〇) 永代使用料一一四万円
A Bとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

このままで直ちに納骨できます。右記の額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

◆納骨堂 (お遺骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようにと、いう考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。

いつもお参りの方がいらしています。

◆NPO 東日本大震災復興支援

『浜ばっぱのぞうきん』

※龍雲寺にて浜ばっぱのぞうきんを置いてあります。 一組四〇〇円

募集 中

「定員になり次第締め切ります」

◆台湾三十三観音巡礼の旅

平成二十六年二月十七日(月)～

二十日(木)

今回は妙心寺派のお寺もある台湾三十三観音巡礼を企画しました。第一回は三泊四日。第二回めは四泊五日の計二回で結願となります。住職は以前、宗務総長時代に台湾にある妙心寺派のお寺に参りました。今回、私に、ぜひ台湾三十三観音巡礼に皆様をお連れしたと言われました。臨済宗と曹洞宗の札所で三十三ヶ寺の他に、日本という番外でしようか客番が三ヶ寺あります。台湾旅行のベストシーズンと言われる二月に又、食べ物美味しい台湾で、ゆっくりお参りをしたいと思いません。会費は近日中に決定します。詳細は龍雲寺までお問い合わせ下さい。資料等をお渡し致します。今回は海外巡礼なので、近畿日本ツーリストさんをお願いしました。ぜひ皆様と一緒に参り下さい。お問い合わせ、お申し込みをお待ちしています。

◆第十回

天満敦子ヴァイオリン・コンサート

日時 十月十九日(土) 午後三時～
会費 三千五百円(当日集金)
会場 龍雲寺本堂(椅子席)

三時から整理券配布

お申し込みはFAX\電話・お葉書で。お抹茶・虎屋さんのお菓子・笹寿司をご用意

◆昔の龍雲寺の写真を探しています。

この度「野沢と龍雲寺のなりたち(仮)」というものを編集したいと考えておりまして皆様の自宅に、環七時代の龍雲寺、麦畑だった頃の今の龍雲寺境内、住職の晋山式の時の写真などございましたら、是非お寺にお貸し頂きたいと考えております。宜しく願います。

晋山式のご案内

平成二十五年十一月二日(土)

午前十時半より 於 龍雲寺本堂

いよいよ、晋山式まで二ヶ月をきりました。晋山式実行委員様たちをはじめ、たくさんの方々のご協力をもって、着々と準備が進んでおります。龍雲寺にとっても、江戸時代の創建以来十二回目の大行事で、前回の晋山式からはや四十年。大規模であり、慣れない式でありますから、ご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますが、何卒ご容赦くださいませ。なお晋山式は大変めでたい慶事です。その様な服装でお越し頂けたら幸いです。また、特に難しい決まりは全くありませんので、お気軽に考えていただけたらと思います。

編集後記

皆様、猛暑の中、いかがお過ごしでしたか？日傘など使った事の無い私が日傘が手放せなくなりました。帽子より、ずっと上半身が涼しく、男性用日傘も売り出されているようです。日傘は便利と感じました。アークという被災地等で捨てられた犬達を保護している所から譲って頂いた、タラちゃんが老衰で九月一日に眠るようになりました。前日は長男一家も来ていたので又、日曜日で皆が居る時に亡くなり、家族皆でお別れが出来ました。タラちゃんは二度も捨てられ、龍雲寺に来た時は怯えていましたが、じきに慣れて来ました。最近耳も遠く目も悪くなりましたが、食欲はありました。放し飼いにしていたので、亡くなる二日前に住職がタラちゃんを柵から逃がしてしまい、捕まえられないくらい元気でした。タラちゃんが居ないと淋しいです。天満さんのコンサートは本堂までバリア・フリーですので車椅子でも大丈夫です。皆様お誘いの上、是非、お越し下さい。台湾巡礼もお申し込み下さい。○五山送り火はお天気にも恵まれ送り火を拝めました。妙心寺法堂での、お精霊送り、微妙殿や涅槃堂での団体参拝や涼しい花園会館でお写経・写仏とお数珠や陶器作りをしました。今回八十五才と八十一才の方の一人参加がありました。お昼寝タイムも取り、体調を崩した方はありませんでした。○私は晋山式でも新しい着物は作らず、いつもの着物と帯です。皆様が晋山式に来て下さるだけで幸福です。○山内一同皆おかげさまで痩せもせず元気です。○夏のお疲れが出ません様に。皆様にお元気です。 要子